



カンボジア～タイ訪問記【リユース編】 海外リユース市場に潜入！

カイテン倉庫の販路の一つに 海外でのリユース販売 がありますが
今回は実際に商品が販売されているタイとカンボジアの店舗にお邪魔しました

写真/レポート = 金光 広明



Apr.2025 vol.182
The OpenTalkS



▲「TAMAYA」さんの店内の様子。商品が所狭しと並ぶ
▶熱帯の文化がないのに徳利が売れるの？と思いきや、なんと花瓶として売れるそうです。



▼この大きなクマさんはOTSのセンターで回収された物のような気がする…。遥々カンボジアまで海を越えて…(ノド)



遥か4000キロの海を越えて 必要な人に必要な物を届ける取組み

一歩店内に足を踏み入れると、そこには所狭しと日本からのリユース品が並んでいました。値札やポップを見なければ、日本のリサイクルショップに來たのではないかと錯覚するほど。

服や家具、玩具や調理器具など、生活用品ならどんな物でもあるのではというほどの充実した品揃えでした。

値段を見ると、「あら？少し高いのでは」と思いましたが、そこは商慣習の違いによるもので、カンボジアやタイでは購入時の値引きが当たり前のため、それを見越した値段設定がされているとのこと。

何時間でも見ていられる楽しい店内でしたが、ここでは現地の売れ筋商品や、お店の方でも想定していなかったと思われる人気商品をご紹介します。

▼OTSでは定期的に古着の回収を行っています。3月29日に江戸川陸上競技場で開催されたクボタスピアーズ様の試合にもイベントブースを設置し、一般の方からも広く古着やおもちゃの回収を行いました。



▶日本のとある中学校のものと思いきや数が多く販売されていました。
▼座布団に座る文化はないということですが、ヨガマットとして非常に人気な商品だそうです。



▼エアコンも売れ筋ですが、日本で多く使われている8畳用は、こちらの住宅事情からするとパワー不足とのこと。



▲ザ・日本な置き物もすごく人気が高く、いくらでも欲しいと店長が語っていました。
◀一番人気は日本の調理器具。耐久性が段違いに優れているため、いくら入荷してもすぐに売れてしまうそう。

様々なルートで集められた商品はOTSも出資しているリサイクルリンク社様を通じて、タイやカンボジアの店舗でリユース販売されています。実際にOTSでもお客様から依頼された商品や什器、従業員から寄付された衣類や玩具等を定期的に取り扱っています。今回はカイテン倉庫サービスのの一つ、海外リユース販売の特集として、実際にタイの店舗「TAMAYA」さんと、カンボジアの店舗「古着(こぎ)ファクトリー」さんにお邪魔させていただきました。その実情を取材してきました。



▲日本風の名前が好まれるということで、タイの店舗は「TAMAYA たまや」というかわいい名前でした。